



表5 定率減税の廃止

区 分	平成18年	平成19年
所得 税	平成18年1月から ※事業主等は平成19年2～3 月の確定申告分から	平成19年1月から ※事業主等は平成20年2～3 月の確定申告分から
	20%→10% (上限12万5000円)	廃 止
市県民税	平成18年6月(平成18年度分) から	平成19年6月(平成19年度分) から
	7.5% (上限2万円)	廃 止

税源移譲以外の改正点

○定率減税(算出税額から差し引く定率控除額)の廃止

表6 高齢者非課税措置の廃止

区 分	均 等 割			所 得 割
	市民税	県民税	計	
平成18年度	1,000円	400円	1,400円	所得割額の1/3課税
平成19年度	2,000円	900円	2,900円	所得割額の2/3課税
平成20年度	3,000円	1,500円	4,500円	全額課税

※均等割の県民税には「おかやま森づくり県民税」を含んでいます。

平成11年度分の市県民税から、定率減税の実施により所得割額の一定割額が景気対策のため減額されていましたが、平成19年度分から廃止されます。(表5)

○高齢者非課税措置の廃止

前年の合計所得金額が125万円以下の65歳以上の人に対する非課税措置が平成17年度で廃止されました。

なお、平成17年1月1日現在において、65歳以上で前年の合計所得金額が125万円以下の人に急激な税負担増を緩和するため、平成19年度までの2年間の経過措置がとられています。(表6)

平成20年度の改正

○住宅ローン減税

平成18年末までに入居した人で、税源移譲に伴う税制改正により平成19年分以降の所得税における住宅ローン控除による減税額が減少する場合には、翌年度の市県民税からその分が減額されます。

この適用を受けるには、賦課期日(1月1日)現在で居住している市区町村長に申請が必要になります。

○損害保険料控除の改正

これまでの損害保険料控除が改正されます。

新たに地震保険料控除が創設され、地震保険契約に係る保険料の2分の1に相当する金額が控除されます。(最高額：市県民税2万5000円、所得税5万円)

経過措置として、平成18年12月31日までに締結した長期損害保険契約等については、従前の損害保険料控除が適用できます。(最高額：市県民税1万円、所得税1万5000円)

ただし、両方を適用する場合の控除額の上限は、地震保険料控除の最高額までとなります。

なお、短期損害保険料控除は廃止されます。

※平成20年度の改正とは、所得税は平成19年分から、市県民税は平成20年度から変わることにあります。

■問い合わせ 税務課市民税係 (TEL) 20214

もしもの
時のために

救命講習 の受講を

突然あなたの身の回りで、けがや病気で人が倒れたらあなたはどうしますか？

消防署では、次のとおり救命講習会を開催します。今回は8時間の上級救命講習会です。

なお消防署では随時、救命講習会を開いています。町内会や各団体などお気軽に申し込みください。



と き 2月4日(日)
午前8時30分～午後5時30分

ところ 市消防署

定員 20人程度

内容 上級救命講習(8時間)

1. 救急車が到着するまでに要する時間程度でできる心肺蘇生法(1人法)、および大量出血時の止血法
2. AED(自動体外式除細動器)についての理解と正しい使用法

※AED(自動体外式除細動器)とは…致命的な不整脈(心室細動等)に陥った傷病者の心臓の動きを正常なリズムに戻すため除細動(電気ショック)を行う医療機器です。

(1、2までが普通救命講習)

3. 傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当て、搬送法の習得

■申し込み・問い合わせ

消防本部警防課 (TEL)20124)

工業統計調査にご協力ください

平成18年12月31日を基準日に、全国一斉に「工業統計調査」が実施されます。

この調査は、製造業を営むすべての事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として毎年行われています。

調査の結果は行政や企業、学校の教材などの資料として幅広く利用されています。

該当する事業主の皆さん、ご協力をお願いします。

■問い合わせ 企画課企画係 (TEL)20209)



子どもたちを招いて遠州茶会

地域の文化の創造・継承に取り組む団体を顕彰する「おかやま県民文化大賞」に、高梁地域づくり交流会

(西右介会長)が選ばれました。

同交流会は、「城下町高梁」固有の歴史・文化を再発見することを目的に、平成4年に設立。小堀遠州や山田方谷の顕彰、「町並み建築デザイン賞」の提案・実施、中四国城下町サミットや町並みウォッチングの開催など幅広い活動を展開するなど、県内外に高梁市の魅力を情報発信しています。

こうした、まちづくりへの取り組みが評価され、このたびの受賞となりました。

県民文化大賞に 高梁地域づくり交流会

とても危険!

穴を開けていないスプレー缶

スプレー缶を処理する過程で、爆発・炎上する事故が多発しています。これはスプレー缶に穴を開けていなかったためであり、施設が破損したり作業員がけがをするなど、大変危険です。

スプレー缶は必ず使い切って穴を開け、「カン類」の日に出してください。

「燃やせないごみ」には出さないようにしてください。



■問い合わせ 環境衛生課衛生係 (TEL)20259)、各地域局住民福祉課